

慣用句その10

名前 解答

解答

問 次の文の意味の慣用句を [] から選べ。

① 見当をつけること。狙いをつけること。

(目星を付ける)

② ちらつと聞くこと。

(耳に挟む (小耳に挟む))

③ 優れたものをたくさん見ているうちに、物の価値を正しく見抜く力がつくこと。

(目が肥える)

④ 言うこと成すことすべてに嫌味があり、我慢できない様子。

(鼻持ちならない)

⑤ 自分の能力ではどうすることもできない様子。

(手が出ない)

⑥ 隠し事を白状すること。

(口を割る)

⑦ 自分が関係しているのに、無関係のような態度であること。

(涼しい顔)

⑧ 相手の行いや人柄に感服すること。

(頭が下がる)

⑨ みんなが同じ行動をすること。

(足並みをそろえる)

目が肥える 足並みをそろえる 口を割る
耳に挟む 手が出ない 目星を付ける
頭が下がる 鼻持ちならない 涼しい顔

① 程度をいつそうはなはだしくすること。

(輪を掛ける)

② 少しの助けでは、ほとんど効果がないこと。

(焼け石に水)

③ お世辞を言うたり、機嫌をとったりすること。

(胡麻をする)

④ 何が何だか分からず、ぼかんとすること。

(狐につままれる)

⑤ 心に深く刻みつけること。

(肝に銘じる)

⑥ あまりにひどくて黙っていられない様子。

(目に余る)

⑦ 欠点や弱点をつかれて、つらい思いをすること。

(耳が痛い)

⑧ わずかな兆候から役立つことを見つける能力を持っていること。

(鼻が利く)

⑨ 相手の考えている作戦にだまされること。

(手に乗る)

目に余る 耳が痛い 狐につままれる
手に乗る 輪を掛ける 鼻が利く
肝に銘じる 焼け石に水 胡麻をする

